

## 全国高等学校ビブリオバトル2022鳥取県大会の開催結果について

### 1 概要

- 本を主体としたコミュニケーションゲームであるビブリオバトルを通じて、高校生の表現力・コミュニケーション能力の養成と読書への関心を高め合う新たな読書活動推進の場の提供を目的として毎年開催（今回で6回目）
- 県内の高等学校・高等専門学校10校（10名）の高校生が出場（昨年度は13校13名）
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出場者を各校1名に制限
- 倉吉西高等学校からの出場者が紹介した本がチャンプ本に選ばれ、大阪で開催される全国大会（令和5年1月22日）に出場予定

2 日時 令和4年12月11日（日） 午後1時～午後3時30分

3 会場 倉吉体育文化会館 大研修室他

### 4 発表本

会場	発表順	発表本（タイトル / 著者名・出版者名）	決勝進出本 チャンプ本	発表者所属
予選 ①	1	『ロボット・イン・ザ・ガーデン』 デボラ・インストール/小学館		鳥取東高校
	2	『陽気なギャングが地球を回す』 伊坂幸太郎/祥伝社	○	米子東高校
	3	『さようならまでの3分間』 桜井美奈/一迅社		鳥取中央育英高校
	4	『推し、燃ゆ』 宇佐見りん/河出書房新社		倉吉総合産業高校
	5	『本を守ろうとする猫の話』 夏川草介/小学館	○	青翔開智高校
予選 ②	1	『ホルモー六景』 万城目学/角川書店		倉吉東高校
	2	『トイレの神様』 植村花菜/宝島社		米子南高校
	3	『沙漠と青のアルゴリズム』 森昌磨/講談社	○	鳥取西高校
	4	『崩れる脳を抱きしめて』 知念実希人/実業之日本社		八頭高校
	5	『空白小説』 氏田雄介ほか/ワニブックス	○	倉吉西高校
決勝	A	『沙漠と青のアルゴリズム』 森昌磨/講談社		鳥取西高校
	B	『空白小説』 氏田雄介ほか/ワニブックス	◎	倉吉西高校
	C	『本を守ろうとする猫の話』 夏川草介/小学館		青翔開智高校
	D	『陽気なギャングが地球を回す』 伊坂幸太郎/祥伝社		米子東高校

### 5 所感

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出場者数の制限や観覧者を事前申込制にするなどの対策をとりながらの開催であったが、盛況のうちに終えることができた。休校等で校内予選が行えなかったという学校もあり、出場者は昨年度より減ったが、作品の面白さや自分自身が感じた思いを素直に表現するなど充実した内容のバトルとなった。今後も高校生の読書推進の契機となるよう継続して開催するとともに、参加校の増加を図っていきたい。

## 6 当日の様子



### 【チャンプ本発表者の声】

昨年参加した先輩の背中を見てビブリオバトルに出場し、自分でも楽しく本の紹介をすることができました！全国大会でも頑張ります！